

# 旅館綿屋 de 上映会

Cinema



## 2013年日本中を駆け巡った話題作!! 『さよなら溪谷』

原 作は「悪人」など話題作を次々と世に送り出している吉田修一。レイプ事件の加害者と被害者が何故一つ屋根の下に暮らしているのか…。人間の心の葛藤を深くそして繊細に描き上げた大森監督の最新作。

- 賞歴 第5回TAMA映画賞 最優秀作品賞 最優秀女優賞(真木ようこ)
- 第37回山路ふみ子映画賞 女優賞
- 第38回報知映画賞 主演女優賞

上映スケジュールは2p・監督インタビューは3pへ

Place



### 2014年国の登録有形文化財に登録予定! 旅館綿屋

明治38年、炭鉱で財をなした田代政平の別邸が前身。貴重な木屑3階建の迫力ある大屋根、手入れの行き届いた庭と当時のままの洋館がみどころ。今回は、唐津の文化的な価値のある建物を巡るディスカバー唐津ヘリテージのイベントとのコラボで企画が実現!

Information

日時 3月9日[日] 上映 14:00 ~ アフタートーク 16:00 ~  
 入場料 一般 1500円 会員 1000円 シークレットゲスト来場予定!  
 お問い合わせ 唐津シネマの会事務局 TEL 0955-72-3278

最新情報は karatsucinema.com をチェック!

### 唐津建築遺産、一挙公開! DISCOVERY KARATSU HERITAGESとは?

DISCOVERY KARATSU HERITAGES

唐津城下町の風情を色濃く残す建築から、唐津に花開いたモダンな建築まで個性ある13通りの建物を、一挙公開する企画です! 普段入れない建物もイベント期間中のみ特別公開。その他、唐津の建築遺産で楽しむヨガや演劇や映画など、各施設歴史遺産のイベントが盛り沢山! 歴史遺産を巡るツアーや唐津遺産スタンプラリーも開催。

[日時] 平成26年3月8日(土)・3月9日(日) 11:00~16:00  
 [会場] 国指定重要文化財、県及び市指定文化財など全13施設  
 [主催] 唐津市(農林水産商工部 商工ブランド課 市街地活性化推進係)  
 ※詳しくは、チラシをご覧ください。

## 『もったいない』で考える唐津の未来、地球の未来

Let's think about the future of the planet together!



### 『もったいない』

信 じがたい真実ですが、私たちが日々食べる食品はそのおよそ半分が食卓に届く前に捨てられています。生産の現場で、流通の過程で、小売販売のシステムによって、そして家庭でも…。世界で毎日最大約半分当たる20億トンもが廃棄されている現実を、あなたはどうか受けとめますか? 世界中の数々の映画祭で映画賞を受賞しセッションを巻き起こしたドキュメンタリー!

- 賞歴 アトランティス環境・自然・映画祭 2011 最優秀映画賞
- EKOFILM環境・自然・文化遺産国際映画祭 2011 ドキュメンタリー映画賞
- EKOTOPFILM 2011 グランプリ スロバキア政府賞
- エコロジーと環境保護国際映画祭 2011 グランプリ
- サンチャイルド映画祭 2011 環境部門特別賞

After discussion

映画を観た後は、ゲストと一緒に映画を題材に、今私たちに何ができるのか、唐津の未来、地球の未来について一緒に考えませんか。



ゲスト 畠山 千春(はたけやまちはる)  
 カナダ留学後、ウェアマガジン/greenz.jpのインターンを経てNGO/NPO支援・映画の配給事業を行う会社に就職。福岡在住。食べ物、お金、エネルギーを自分たちでつくるシェアハウスいとしまシェアハウスを運営中。2013年1月に特許免許を取得し、フリーの講師に。  
 ※詳しくはブログ「ちはるの森」http://chiharuh.jp

Information

日時 3月22日[土] 上映 13:00 ~ アフタディスカッション 15:00 ~  
 入場料 大手口センタービル3階 市民交流プラザオーテホール  
 入場料 一般 1000円 会員 600円  
 お問い合わせ 唐津シネマの会事務局 TEL 0955-72-3278

※最新情報は karatsucinema.com をチェック!

# クラシック名画集

あの日あの時あの人と



1940年代、戦後のロサンゼルス。地方検事と衝突して検事局の調査員を辞職した主人公の私立探偵フィリップ・マーロウは、富豪の退役将軍スターンウッドと呼ばれ、次女・カルメンが古書店主ガイガーから多額のバクツの借金の催促を受けている件について調査の依頼を受ける。その背後にはこれまでに何度かゆすってきた与太者プロディがいるのでは—というのが將軍の読みであったが、調査を始めて間もなく古書店主ガイガーが何者かによって殺されてしまい事態は思わぬ方向へ…。レイモンド・チャンドラーの『大なる眠り』が原作のサスペンス映画。ハードボイルド映画に大きな影響を与えたH・ボガードの代表作。素早く湧いた台詞まわしとボギーの魅力たっぷりの一本。

三つ数える  
 1946年/113分/アメリカ  
 監督: ハワード・ホークス

上映スケジュールはp2/1月へ



イギリスはヨークシャーの荒野に立つ荒れ果てた館「嵐が丘」。主人のアーンショーは旅先から1人の孤児を連れ帰りヒースクリフと名づける。息子の Hindley がヒースクリフを嫌う一方、娘のキャシーはヒースクリフと仲良くなり、互いの心の支えとなる。間もなくしてアーンショーが病死し、キャシーは下働きのヒースクリフに惹かれながらも、裕福な生活を送るエドガーの求婚を受けてしまう。それにショックを受けたヒースクリフは姿を消すのだが…。エミリー・ブロンテの名高い小説を、ベン・ヘクトとチャールズ・マッカーサーのコンビが脚本を手掛け、演出はウィリアム・ワイラー、そしてグレッグ・トーランドの撮影(アカデミー白黒撮影賞受賞)といった一流のスタッフ陣で描きあげた名作。

嵐が丘  
 1939年/104分/アメリカ  
 監督: ウィリアム・ワイラー

上映スケジュールはp2/2月へ



上院議員の空席を埋めるため担ぎ出された愛国心溢れる青年・ジェファソン・スミス。スミスは首都ワシントンに赴き、美しい女秘書サンダースの協力を得て議員生活の第一歩を踏み出すことになる。マスコミからの痛い洗礼を受け、一度は帰郷を決意するのだが…。腐敗した政治の世界にたった一人で立ち向かう男の姿を通して、アメリカン・スピリットを感動的に描くアメリカ映画史に残る名作。原作はルイス・R・フォスターの『ミネソタから来た紳士』。監督は(素晴らしい) 人生! の巨匠フランク・キャブラ。第12回アカデミー賞で、作品賞を含む合計11部門にノミネート、原案賞を受賞。主演のジェームズ・ステュアートは、第5回ニューヨーク映画批評家協会賞で男優賞を受賞。

スミス都へ行く  
 1939年/129分/アメリカ  
 監督: フランク・キャブラ

上映スケジュールはp2/3月へ

## ボクのうんちく a man of profound knowledge

今回の三本の素敵な映画はいずれもきれいなモノクローム(白黒)映画です。  
**まずは「三つ数える」。**  
 原題は「大なる眠り」(ビッグスリーパー)というレイモンド・チャンドラーの有名な小説の映画化です。時代背景もいですが、なんと言つても、ハンフリー・ボガードの魅力でしょう。フィリップ・マーロウという私立探偵に扮していますが、とても格好いいですね。ちなみに相手役の女優はローレン・バユールといって、H・ボガードの奥さんです。  
**次は「嵐が丘」。**  
 有名なエミリー・ブロンテの小説を映画化したものです。監督は「ベンハー」を作った、Wワイラー、主演はシエークスピア役者のローレンス・オリビエです。このキャサリンとヒースクリフの物語は昔から知られた小説で、何度も映画になっていますが、この映画が一番です。一度小説を読んでおくといいですよ。ちなみに「ジェーン・エア」の作者シャーロット・ブロンテはエミリー・ブロンテのお姉さんです。ブロンテ姉妹を描いた映画でもあります。18世紀のイギリスの文学は深いですね。  
**最後に「スミス都へ行く」。**  
 フランク・キャブラ監督のアメリカン・テクニクラシーの作品です。ここで「都」とはワシントンの事。J・スチュアートの若くて正義感にあふれる上院議員の演技が見もの、アメリカ力は言論の国といふことがよくわかります。今みててもとても参考になりますし、公的な仕事についている方々は見事です。  
 私は昔の映画がとても好きです。たくさん映画が作られました。こうして残っている作品はすばらしい映画ばかりです。  
 おしま



まつかねつねお  
**松金恒雄さん**  
 唐津シネマの会サークル部長